

板橋区水泳連盟の沿革

オリンピックの歴史	年	板橋区水泳連盟の沿革	区民大会
第 14 回ロンドン五輪 ・戦争責任国として招待されず	1948	・第 1 回区民水泳大会開催(8/15) 都民大会へ派遣	第 1 回
	1949	・板橋区水泳連盟結成(会長北原将弘氏)	
	1950		
	1951		第 2 回
第 15 回ヘルシンキ五輪 ・日本は戦後初めて参加 ・古橋 400m自由形決勝 8 位 ・橋爪四郎 1500m 銀メダル	1952		
	1953		
	1954		
	1955		
第 16 回メルボルン五輪 ・Murray Rose と山中毅の対決 ・古川勝 200m 平泳ぎで金 ・田中聡子 200m背、世界記録 13 回更新	1956		
	1957	・水泳連盟再編成(板橋区水泳連盟創立) 会長 北原将弘氏	第 3 回
	1958		第 3 回
	1959	・板橋区水泳連盟会長に小松氏が就任 理事長堀口宏三氏就任	第 4 回
	1960	・板橋区水泳連盟会長に榎英久氏就任	第 5 回
第 17 回ローマ五輪 ・Murray Rose400m 自由形で 2 連覇 ・水泳陣不振	1961		
	1962		第 7 回
	1963	・水泳講習会(講師:左近允正矩氏)	第 8 回
第 18 回東京五輪 ・Dawn Fraser100m 自由形で3連覇 ・インドネシアと北朝鮮両選手団の帰国 ・水泳陣不振、木原美智子最年少出場	1964	・台風のため区民水泳大会中止	
	1965		第 9 回
	1966		第 10 回
	1967	・区立小豆沢体育館50mプール完成 福島滋雄選手が開場式でデモ 以後、区民水泳大会は小豆沢で開催 ・初めて区民対象の水泳教室開催	第 11 回
第 19 回メキシコ五輪 ・Debbie Meyer が 個人 3 種目制覇(200、400、800m 自) ・日本水泳陣惨敗	1968	・板橋区水泳連盟理事長に小島勇氏就任	第 12 回
	1969	・区民体育大会水泳競技会とし開催回数呼び名を区民体育大会に統一。	第 22 回
	1970	・東京都体育優良団体表彰受賞 ・小林虎 東京都体育協会賞銅賞受賞 体協理事長	第 23 回 第 24 回
第 20 回ミュンヘン五輪 ・ゲリラが選手村襲撃 ・Mark Andrew Spitz が7種目で金 ・田口信教 100m 平泳ぎ金 ・青木まゆみ 100M バタフライで金	1972	・区体育指導員に、嶋北、吉田氏を推薦 ・親子教室など各種水泳教室開催 ・区主催勤労者・初心者講習会にて指導	第 25 回

第 21 回モントリオール五輪

日本水泳会惨敗(ほとんど予選落ち)
モントリオールが五輪で大赤字
アフリカの 22 カ国がオリンピックをボイコット
アメリカと東ドイツが水泳競技メダル独占

第 22 回モスクワ五輪

50 カ国近くがボイコット

第 23 回ロサンゼルス五輪

商業主義の発端
ソビエト連邦などの東欧諸国不参加
日本水泳界振るわず。メダルなし。

第 24 回ソウル五輪

鈴木大地 100m 背泳ぎ金
女王ジャネット・エバンス選手活躍
小谷実可子シンクロで銅

1973	・連盟理事長に吉岡豪丈氏就任	第 26 回
1974	・区立高島平温水プール完成 ・須田久蔵氏が区体育協会功労賞受賞	第 27 回
1975	・板橋区水泳連盟会長に小林保之氏就任 ・区主催の初心者教室(婦人、小中学生、社会人等)が実施される。	第 28 回
1976	・冷夏で区民大会の開会時間遅れる。 ・「日刊ロードレース」に協力 ・吉岡豪丈氏が区体育協会功労賞受賞。	第 29 回
1977	・区主催水泳記録会実施 ・青少年委員会事業に指導員派遣 ・区立加賀福祉園水泳教室に指導員派遣	第 30 回
1978	・猛暑で水不足に悩まされる	第 31 回
1979	・第 2 種水泳指導員講習会を実施	第 32 回
1980	・水連主催の水泳教室が始まる (幼児、小、中学校、母親、社会人対象)	第 33 回
1981	・板橋区肢体不自由児童水泳教室に協力 ・小林保之会長が区スポーツ功労賞を受賞 ・第 2 種水泳指導員講習会を実施 ・青少年高島平地区委員会水泳教室に指導員派遣	第 34 回
1982	・区体育協会が財団法人となる。	第 35 回
1983	・区主催水泳記録会実施 ・第 2 種水泳指導員講習会を実施	第 36 回
1984	・青少年高島平地区委員会水泳教室に指導員派遣	第 37 回
1985	・第 1 回板橋区マスターズ大会 兼都民大会 選手選考会実施 ・山本公章氏が区体育功労賞受賞	第 38 回
1986	・スポーツリーダー養成講習会実施 ・区立東板橋体育館完成 同プールで板水連主催水泳教室を開催	第 39 回
1987	・スポーツリーダー養成講習会実施 ・佐藤孝志氏が区体育協会功労賞を受賞	第 40 回
1988	・吉岡豪丈氏(体協)板橋区体育功労賞受賞	第 41 回
1989	・山家千文さんが日本選手権で 100m 平優勝	第 42 回
1990	・アシスタント指導員養成講習会実施 ・佐藤孝志氏が理事長に就任 ・「板橋区歩き歩き大会」へ参加、協力 ・板橋区マスターズ水泳大会実施	第 43 回

オリンピックの歴史

年

板橋区水泳連盟の沿革

区民大会

第25回バルセロナ五輪

岩崎恭子 200m 平泳ぎで金
奥野史子 シンクロで銅

第26回アトランタ五輪

日本水泳界 3 位以内入賞なし

第27回シドニー五輪

北島平泳ぎ 100m4位
女子選手活躍
中尾背泳ぎ 200m 銅
中村背泳ぎ 100m 銀
田島 400m個人メドレー銀
400mメドレーリレー銅
シンクロチーム銀

1991	・白岩宣一氏(水連)板橋区体育協会功労賞受賞	第 44 回
1992	賞 ・板橋区水泳連盟会長に須田久蔵氏が就任 ・指導員研究会実施	第 45 回
1993	・スポーツリーダー研修会実施 ・赤塚体育館プール完成 ・上板体育館プール完成	第 46 回
1994	・廣谷和子氏区体育協会功労賞受賞	第 47 回
1995	・水泳教室を22から44教室の拡大 ・ワンポイント水泳指導員の派遣開始	第 48 回
1996	・着衣泳指導法講習会実施 ・板橋区水泳記録会実施	第 49 回
1997	・区体育館4館で着衣泳教室実施 ・都民体育大会:女子優勝、男子 6 位 ・連盟登録者100名を超える ・板橋区水泳連盟理事長に山本公章氏就任 ・吉岡豪丈氏が都体育協会体育功労賞受賞 ・板橋区水泳連盟が都体育団体表彰受賞 ・泉山能子氏が区体育協会功労賞受賞 ・環境庁主催「ぜんそく児水泳フェスティバル」に	第 50 回
1998	協力。鹿島瞳さんデモスイム。 ・白岩宣一氏(水連)区体育功労賞受賞 ・桑山登氏(水泳)区体育功労賞受賞 ・区主催初心者水泳教室、連盟主催教室ともに定員を上回る応募	第 51 回
1999		第 52 回
2000	・菊地梢子氏が区体育協会功労賞受賞 ・前川紀子氏(水泳選手)板橋区体育功労賞受賞	第 53 回
2001	・森田義廣氏が区体育協会体育功労賞受賞 ・柳川フヂ子氏が板橋区体育協会功労賞受賞 ・板橋区水泳連盟理事長に桑山登氏就任 ・区委託事業の初心者水泳教室を「水泳教室」	第 54 回
2002	に名称変更 ・都民大会女子チームが 3 位 ・区民大会の壮年の部 10 歳刻みに細分	第 55 回
2003	・渡辺和子氏が区体育協会功労賞受賞 ・アクアサイズ指導者研修会実施	第 56 回
2004	・高齢者のための泳法第 1 回研修会実施	第 57 回

第28回アテネ五輪

日本水泳陣活躍
北島 康介 100m、平 200m平泳ぎで金
柴田 亜衣 800m 自由形で金
山本 貴司 200m バタフライで銀

第29回北京五輪

マイケル・フェルプス史上初の五輪8冠達成
北島康介2大会連続平泳ぎ2冠
レーザーレーサー着用選手がメダルラッシュ

2005

- ・板橋区水泳連盟会長に若林清氏就任
- ・時任則子氏区体育功労賞受賞
- ・志村消防署より「救急講習会に積極的に取り組む団体」として表彰を受ける。

第58回

2006

- ・若林清氏区体育協会功労賞受賞
- ・桑山登氏(水泳)板橋区体育功労賞受賞

第59回

2007

- ・板橋区水泳連盟理事長に森田義廣氏が就任
- ・藤田喜智雄氏が区体育協会功労賞受賞
- ・創立50周年記念行事開催
- ・小豆沢体育館プール閉鎖

第60回

2008

- ・指導者研修会を10回開催
- ・高島平プールの施設不良で教室が2ヶ月間中断
- ・区民大会を赤塚体育館にて開催
- ・渡邊美禰子氏が区体育協会功労賞受賞
- ・メタボリックシンドローム研修会
講師 健康運動指導士 松本弘氏
- ・関節と水泳について研修会
講師 理学療養士 田中直樹氏

第61回

2009

- ・日本泳法研修会
講師 太田派範士 松岡壽々子氏
- ・志村消防署より「救急行政への貢献」で感謝状を受ける。
- ・光定智子氏が区体育協会功労賞受賞
- ・指導者研修会を10回開催

第62回

2010

- ・高島平温水プール改修工事に伴い月曜日水泳教室は休会となる。
- ・森田義廣氏が板橋区スポーツ功労賞
- ・井上悦子氏が体育協会功労賞受賞

第63回

2011

- ・東日本大震災に伴い災害時における対処法について研修会
- ・東洋大学スポーツセンターにて(長水路大会再開)
- ・吉田君江氏が区体育協会功労賞受賞
- ・高島平温水プール改修工事終了、月曜日教室再開
- ・桜井美智子氏が志村消防署より感謝状 授与。心肺停止状態の女性への適切な救護処置を行ったことによる

第64回

第30回ロンドン五輪

- 鈴木聡美 100M 平泳ぎ 3 位
- 寺川綾 100M 背泳ぎ 3 位
- 星奈津美 200M バタフライ 3 位
- 入江陵介 100M 背泳ぎ 3 位
200M 背泳ぎ 2 位
- 松田丈志 200M バタフライ 3 位
- 立石諒 200M 平泳ぎ 3 位
- 荻野公介 400M 個人メドレー 3 位
- 男子4×100M メドレーリレー 2 位
- 女子4×100M メドレーリレー 3 位

2012

- ・東洋大学スポーツセンターにて
区民体育大会開会式
- 第64回優勝チーム 志村五中 選手宣誓
- ・研修会「プールにおける救助法」
日赤 篠原昇一氏
- ・研修会「競技会運営について」
都水協・競技委員長 藤森克悦氏
- ・日刊ロードレース走路員派遣
- ・板橋 city マラソンのお手伝い

第 65 回

2013

- ・東洋大学総合スポーツセンターにて
444名、30団体の参加。大会新28個。
- ・研修会「教室運営のしくみ」「水泳指導とは」
- ・研修会「普通救命講習」
- ・水泳連盟体育協会功労者団体として受彰
- ・菊地梢子氏が板橋区スポーツ功労賞受賞
- ・67回都民体育大会夏季大会水泳競技会
総合4位
- ・研修会「水上安全法」
- ・研修会「スムーズな競技会運営とはⅡ」
都水泳協会・競技委員長 藤森克悦氏
- ・高島平月曜教室20年継続2名、10年継続
4名表彰
- ・38回日刊スポーツロードレース大会、city
マラソン走路員派遣

第 66 回

2014

- ・研修会「普通救命講習」
- ・第68回都民体育大会水泳競技会
男女ともに総合優勝
- ・志村消防署より感謝状
- ・研修会「水泳大会をスムーズに進行させる
には」都水泳協会常任理事 藤森克悦氏
- ・高島平月曜日教室 10年・20年継続表彰
- ・第 67 回区民体育大会水泳競技会
478 名・36 団体参加
- ・第 39 回日刊スポーツロードレース大会

第 67 回

2014

- ・研修会「中高年を対象とした泳ぎに繋げる水中運動」
- ・(財)体育協会賀詞交歓会にて「飯田金廣賞」受賞

2015

- ・27年度総会、登録数 71 名
- ・第 69 回都民体育大会夏季水泳競技会 男女ともに 4 位入賞
- ・板橋区北区交流小学生記録会 赤塚体育館にて。板橋区 121 名、北区 152 名参加
- ・第 68 回板橋区民体育大会水泳競技会兼学童水泳大会 赤塚体育館プールにて
- ・月曜日教室 10 年継続者表彰者 1 名
- ・第 1 回研修会「初心者水泳指導の共通理解」講師・藤枝弘子理事
- ・第 2 回研修会「普通救命救急法」志村消防署にて
- ・第 3 回研修会「トラブルのない水泳指導」講師 弁護士 高松政裕氏
- ・第 4 回研修会「短水路における水泳大会をスムーズに進行させるには」講師 東京都水泳協会競技委員長 藤森克悦氏
- ・第 5 回研修会「中高年を対象とした泳ぎにつながる水中運動」講師 筑波大学名誉教授 野村武雄氏

第 68 回

第31回 リオデジャネイロ五輪

- 萩野 公介 400m個人メドレー 金
- 200m個人メドレー 銀
- 金藤 理絵 200m平泳 金
- 坂井 聖人 200mバタフライ 銀
- 瀬戸 大也 400m個人メドレー 銅
- 星 奈津美 200mバタフライ 銅
- 男子 4×200mリレー 銅
- (萩野公介・江原騎士・小堀勇氣・松田丈志)
- シンクロチーム 銅
- シンクロデュエット 銅

2016

- ・第 69 回板橋区民体育大会水泳競技会兼学童水泳大会 赤塚体育館プールにて
- 区分増加
 - 壮年の部 70 歳以上、
 - 小学3の部
- ・熊本県・大分県震災発生
- ・会長に「菊池 梢子氏」就任

第 69 回